

製品安全データシート

会社名 株式会社理研グリーン
住所 東京都台東区東上野 4-8-1
担当部門 開発部 企画開発課
電話番号 03-6802-8587
FAX 番号 03-6802-8303
作成・改訂 2016年 5月27日

整理番号 R F O O 2 - 5

製品名 シャルマツト水和剤

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：3'-イソプロポキシ-2-メチルベンズアニリド／一般名：メプロニル

メチル-1-(ブチルカルバモイル)-2-ベンゾイミダゾールカーバメート／一般名：ベノミル

成分及び含有量：メプロニル	60.0 %
ベノミル	15.0 %
界面活性剤、鉱物性微粉 等	25.0 %
[酸化ホウ素	2.0%]

化学式：C₁₇H₁₉NO₂／メプロニル

C₁₄H₁₈N₄O₃／ベノミル

官報公示整理番号：安衛法 4-(7)-1315／メプロニル

CAS No. : 55814-41-0／メプロニル
17804-35-2／ベノミル

国連分類：国連基準で評価して、危険有害物に該当しない

国連番号：

危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

有害性：眼、皮膚を刺激する。

体質によりかぶれることがある。

危険性：通常の使用方法で問題無し。

環境影響：水産動物に影響を及ぼすが、通常の使用方法では問題ない。養魚池周辺での使用には注意する。

応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはめくったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

漏出時の措置

作業員に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする

環境影響に対する注意：流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。

火災・爆発の防止：異種物質の混入を避ける。

保管上の注意：直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。防湿に留意する。

暴露防止措置

管理濃度：鉍物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度(mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度：メプロニル 5 mg/m³ 日本産業衛生学会勧告値(2008年度)

ベノミル TWA 1 mg/m³ ACGIH(2008年度)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク

保護手袋：保護手袋(ゴム手袋)

保護眼鏡：保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型)

保護衣：作業着、帽子、保護服

物理・化学的性質

外観等：類白色水和性粉末

pH(10倍希釈液)：5.5～8.0

見掛け比重：0.13～0.23

危険性情報

引火点：無し

安定性：ベノミルは加熱、強酸・強アルカリとの接触により分解し、窒素酸化物を生成

反応性：通常の保管環境下で無し

粉塵爆発性：有り

有害性情報

刺激性(皮膚)：軽度に刺激性を有する/50%ベノミル水和剤

刺激性(眼)：無し/50%ベノミル水和剤

感作性（皮膚）：軽度の感作性有り／50%ベノミル水和剤
急性毒性（経口）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 5000 mg/kg 以上
急性毒性（経皮）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 5000 mg/kg 以上
急性毒性（吸入）：ラット（♂） LC₅₀ 0.82 mg/l 以上
がん原性：マウス（♂） 13.7 mg/kg 104週間 無し／メプロニル
変異原性：微生物、染色体異常、小核 陽性／ベノミル
催奇形性：無し／メプロニル、ベノミル

環境影響情報

魚毒性：コイ TLm 4.2 ppm（48時間）／メプロニル
TLm 7.5 ppm（48時間）／ベノミル
ミジンコ TLm 23 ppm（3時間）／メプロニル
TLm 14 ppm（3時間）／ベノミル

廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。水濡れに注意する。

適用法令

農薬取締法（登録番号：第16454号 理研グリーン登録）

労働安全衛生法（粉じん障害防止規則）

労働安全衛生法 第57条の2（通知対象物）

PRTR法（対象物質：ベノミル 第一種指定物質 276号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 360号）

PRTR法（対象物質：メプロニル 政令改正前（平成21年9月30日まで）は非該当、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 442号）

PRTR法（対象物質：ホウ素及びその化合物 第一種指定物質 304号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 405号）

※ 政令改正前（平成21年9月30日まで）の情報に基づくPRTRの届出は、平成21年度分までであり、22年4月からは政令改正後の第一種指定化学物質による排出・移動量の把握が必要となります。

その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）

2) 農薬中毒の症状と治療法 平成20年4月 農林水産省農蚕園芸局

3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター 大阪 (年中無休、24時間)

0990-50-2499 (ダイヤルQ2 : 情報料無料、通話料は相談者負担)

072-726-9923 (医療機関専用 : 1件2000円)

つくば (毎日9時~21時)

0990-52-9899 (ダイヤルQ2 : 情報料無料、通話料は相談者負担)

029-851-9999 (医療機関専用 1件2000円)
